

## クライアントの設定

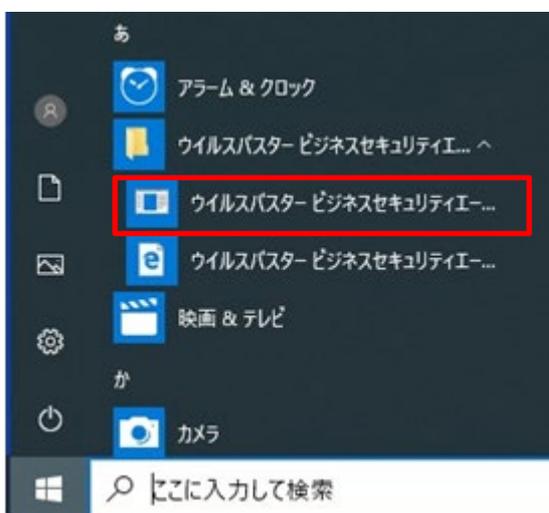
初期設定の状態では、クライアントの除外設定は出来ません。  
 システム管理者の方に、サーバーでの除外設定を依頼してください。  
 設定方法は、ビジネスセキュリティ（サーバー）の手順書を参照してください。

システム管理者がクライアントでの除外設定を許可している場合、この手順書に従って設定を行ってください。

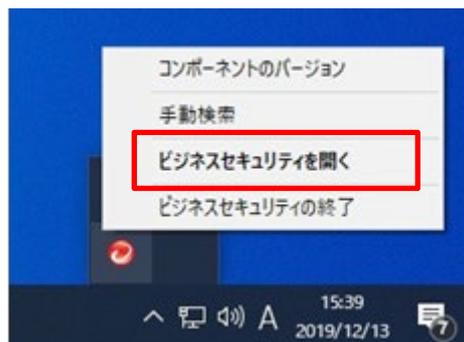
※クライアントで許可されているか確認が可能です。

- Windows スタートメニューから「ウイルスバスター ビジネスセキュリティエージェント」をクリックします。または、タスクトレイのアイコンを右クリックして「ビジネスセキュリティを開く」をクリックします。

〔スタートメニュー〕



〔タスクトレイ〕

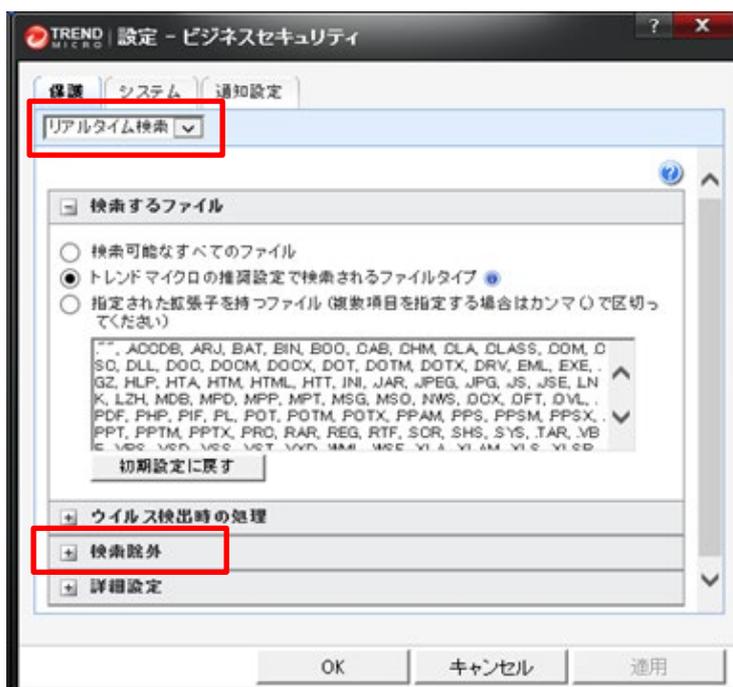


- クライアントで除外設定が可能であるかを確認します。「設定」をクリックします。





④ [リアルタイム検索] であることを確認して、[除外設定] をクリックします。



⑤ [検索除外を有効にする] が ON であることを確認します。

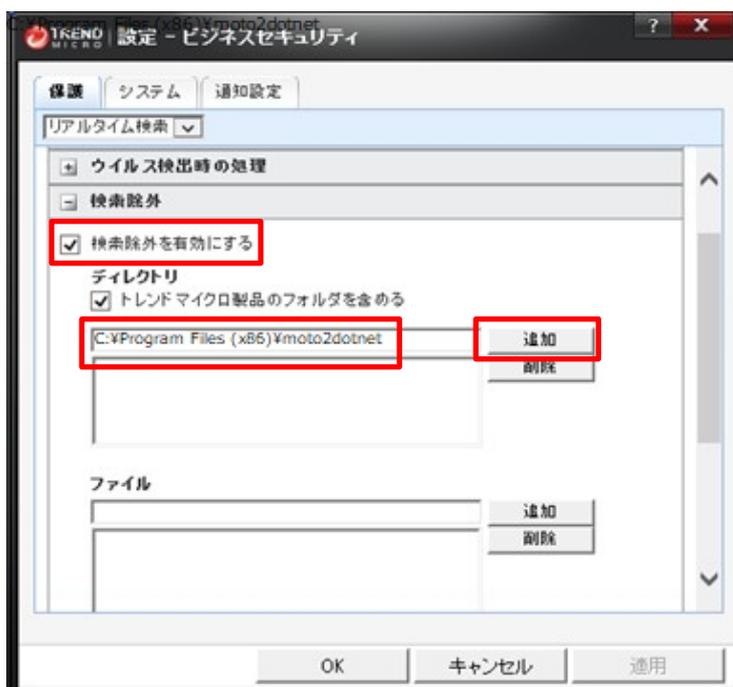
⑥ 基Ⅱ.net がインストールされているフォルダ (C:\Program Files (x86)\moto2dotnet : 64 ビット OS の場合) を入力します。

(Cは基Ⅱ.netのインストールドライブです。ご利用の環境に合わせて変更してください。)

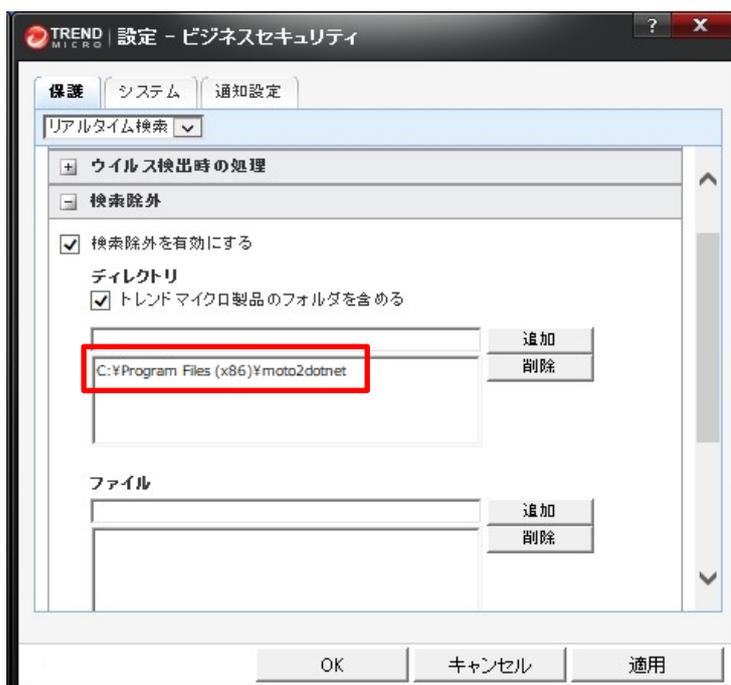
※参照ツリーは表示されないため、手入力する必要があります。

※指定したフォルダのサブフォルダも除外対象となります。

⑦ [追加] をクリックします。



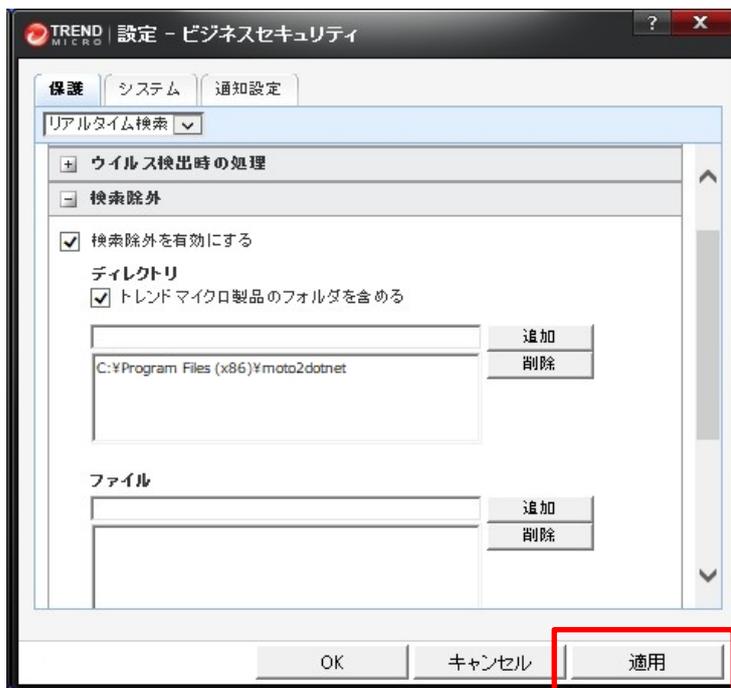
⑧ リストに、指定したパスが追加されたことを確認します。



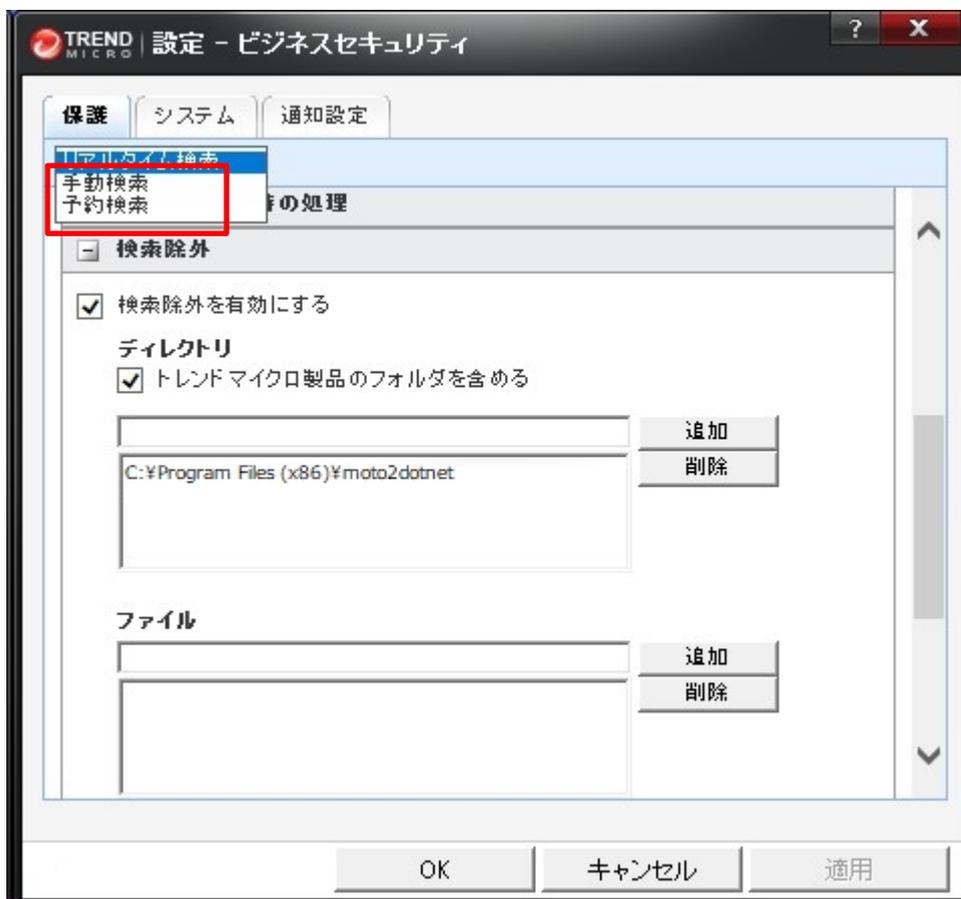
⑨ 各 OS の設定は、それぞれ以下ようになります。

- 32bitOS の場合 「C:\Program Files \moto2dotnet」
- 64bitOS の場合 「C:\Program Files (x86)\moto2dotnet」

⑩ 追加が終わったら [適用] をクリックします。



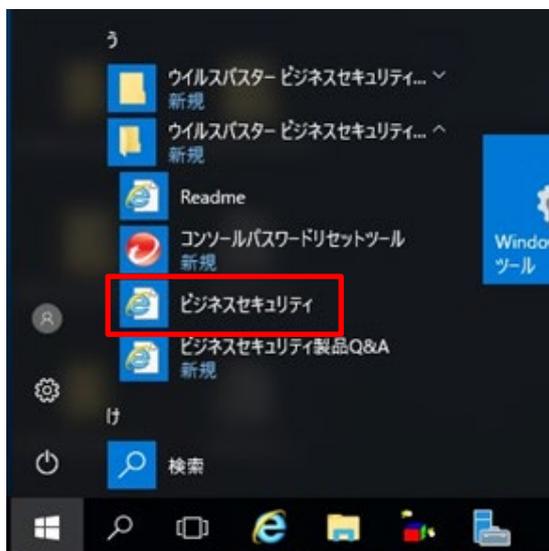
- ⑪ [手動検索] [予約検索] にも、それぞれ除外設定があります。  
リストを切り替えて、同様の手順にて除外設定を行ってください。
- ⑫ すべて完了したら、[OK] をクリックします。  
操作は以上となります。



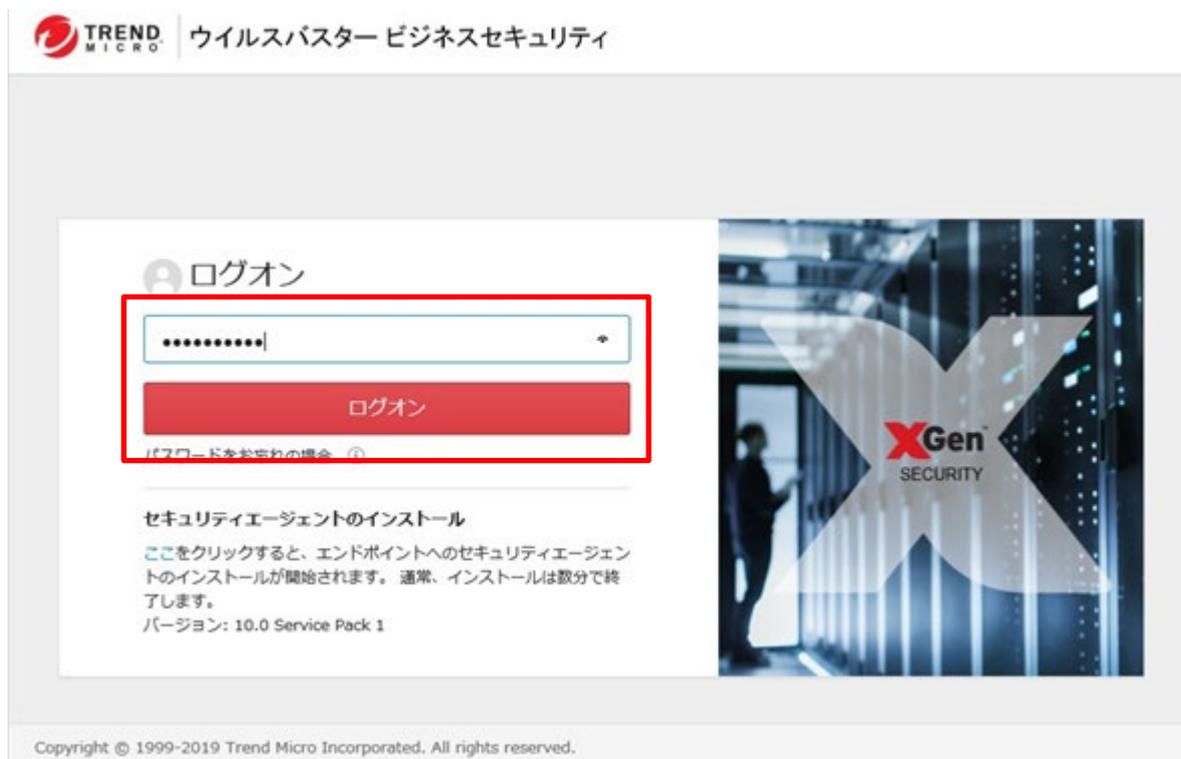
## ウイルスバスター ビジネスセキュリティ

### サーバーの設定

- ⑬ Windows スタートメニューから [ビジネスセキュリティ] をクリックします。  
〔スタートメニュー〕



- ⑭ 管理者の方がパスワードを入力して、[ログオン] をクリックします。



・リアルタイム検索の除外設定

① [デバイス] をクリックします。



② 左側のツリーから、除外設定するコンピュータグループを選択して [ポリシーの設定] をクリックします。



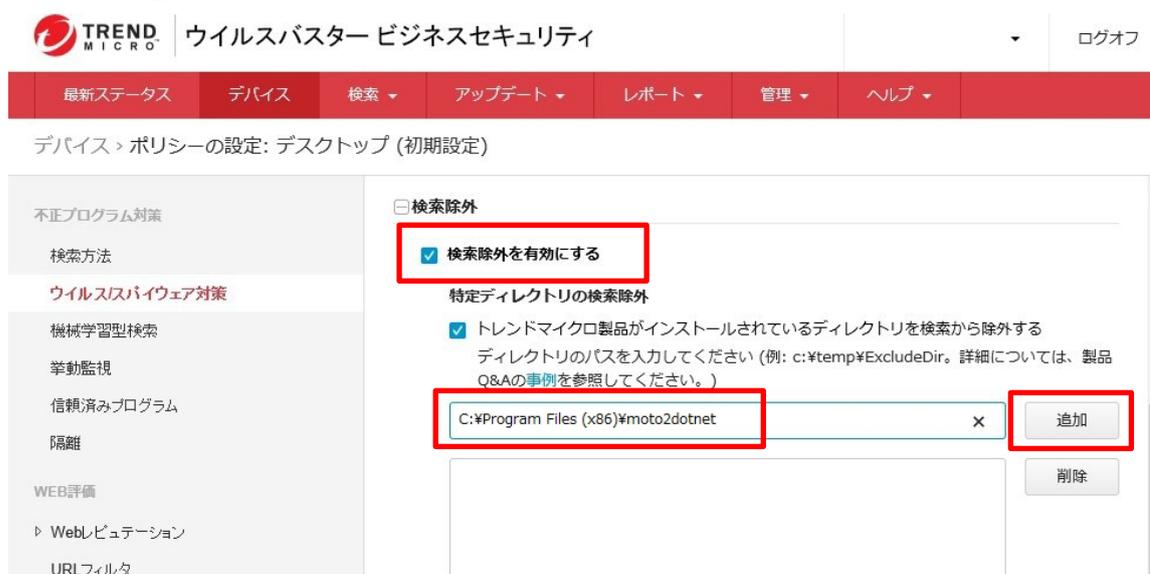
③ [ウイルス/スパイウェア対策] をクリックします。



④ [検索対象] タブの [検索除外] の [+] をクリックします。



- ⑤ 「検索除外を有効にする」がONであることを確認します。
- ⑥ 基Ⅱ.net がインストールされているフォルダ（C:¥Program Files (x86)¥moto2dotnet : 64 ビットOSの場合）を入力します。  
 （Cは基Ⅱ.net のインストールドライブです。ご利用の環境に合わせて変更してください。）  
 ※参照ツリーは表示されないため、手入力する必要があります。  
 ※指定したフォルダのサブフォルダも除外対象となります。
- ⑦ 「追加」ボタンをクリックします。



- ⑧ 下部のリストにフォルダが追加されたことを確認します。



⑨ 追加が終わったら、下にスクロールして [保存] をクリックします。



⑩ 各 OS の設定は、それぞれ以下ようになります。

- 32bitOS の場合 「C:¥Program Files ¥moto2dotnet」
- 64bitOS の場合 「C:¥Program Files (x86)¥moto2dotnet」

• 挙動監視の除外設定/信頼済みプログラムに追加

① [挙動監視]、または [信頼済みプログラム] をクリックします。



② [挙動監視の有効化] が ON であることを確認します。



- ③ 下にスクロールして [除外設定] のボックスに、「C:\Program Files (x86)\moto2dotnet」フォルダ内の exe ファイルのパスを手入力します。  
 (Cは基Ⅱ.netのインストールドライブです。ご利用の環境に合わせて変更してください。)

- ④ [承認済みリストに追加] をクリックします。



ウイルスバスター ビジネスセキュリティ

最新ステータス デバイス 検索 アップデート レポート 管理 ヘルプ ログオフ

デバイス > ポリシーの設定: デスクトップ (初期設定)

不正プログラム対策

- 検索方法
- ウイルススキャン対策
- 機械学習型検索
- 挙動監視**
- 信頼済みプログラム
- 隔離
- WEB評価
  - Webレビューション
  - URLフィルタ
  - 承認済み/ブロックするURL
- その他の設定
  - ファイアウォール
  - デバイスコントロール
  - ユーザーツール

除外設定

除外リスト内のプログラムは不審な挙動についての監視対象から除外されますが、ブロックリスト内のプログラムは自動的にブロックされます。

プログラムのフルパスを入力してください

例:C:\Program Files\BMDir\BMSample.exe (複数指定する場合はセミコロンで区切ってください)

C:\Program Files (x86)\moto2dotnet

承認済みリストに追加    ブロックするリストに追加

承認済みプログラムリスト

| 名前 | プログラムのフルパス |
|----|------------|
|    |            |

- ⑤ [承認済みプログラムリスト] に追加されたことを確認します。



ウイルスバスター ビジネスセキュリティ

最新ステータス デバイス 検索 アップデート レポート 管理 ヘルプ ログオフ

デバイス > ポリシーの設定: デスクトップ (初期設定)

不正プログラム対策

- 検索方法
- ウイルススキャン対策
- 機械学習型検索
- 挙動監視**
- 信頼済みプログラム
- 隔離
- WEB評価
  - Webレビューション
  - URLフィルタ
  - 承認済み/ブロックするURL
- その他の設定
  - ファイアウォール
  - デバイスコントロール
  - ユーザーツール

除外設定

除外リスト内のプログラムは不審な挙動についての監視対象から除外されますが、ブロックリスト内のプログラムは自動的にブロックされます。

プログラムのフルパスを入力してください

例:C:\Program Files\BMDir\BMSample.exe (複数指定する場合はセミコロンで区切ってください)

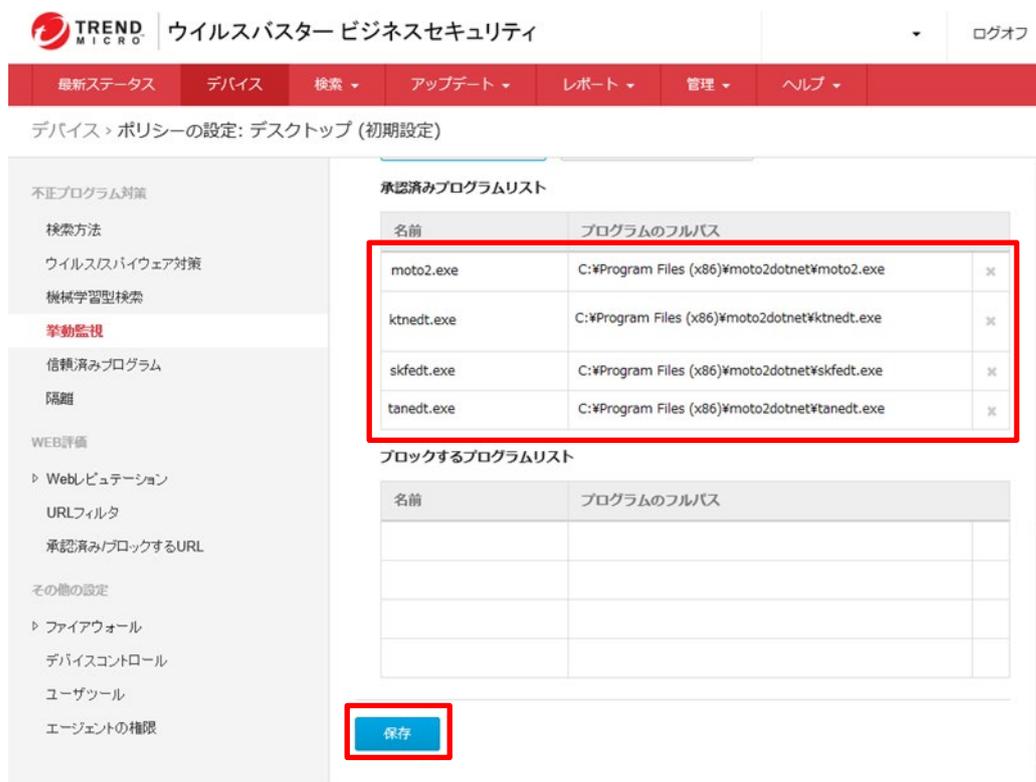
承認済みリストに追加    ブロックするリストに追加

承認済みプログラムリスト

| 名前        | プログラムのフルパス                                   |
|-----------|--|
| moto2.exe | C:\Program Files (x86)\moto2dotnet\moto2.exe |

⑥ 同様の手順にて、必要なファイルを全てリストに追加してください。

⑦ 追加が終わったら [保存] をクリックします。



不正プログラム対策

検索方法

ウイルススバイウェア対策

機械学習型検索

挙動監視

信頼済みプログラム

隔離

WEB評価

Webレビューション

URLフィルタ

承認済み/ブロックするURL

その他の設定

ファイアウォール

デバイスコントロール

ユーザツール

エージェントの権限

承認済みプログラムリスト

| 名前         | プログラムのフルパス                                    |   |
|------------|---|---|
| moto2.exe  | C:\Program Files (x86)\moto2dotnet\moto2.exe  | × |
| ktnedt.exe | C:\Program Files (x86)\moto2dotnet\ktnedt.exe | × |
| skfedt.exe | C:\Program Files (x86)\moto2dotnet\skfedt.exe | × |
| tanedt.exe | C:\Program Files (x86)\moto2dotnet\tanedt.exe | × |

ブロックするプログラムリスト

| 名前 | プログラムのフルパス |  |
|----|------------|--|
|    |            |  |
|    |            |  |
|    |            |  |
|    |            |  |

保存

⑧ [信頼済みプログラム] の設定方法も同様の手順となります。

※ [信頼済みプログラム] には、有効化・無効化の設定はありません。

• 手動検索/予約検索の除外設定

① [検索] - [手動検索]、または [予約検索] をクリックします。



② 除外設定するコンピュータグループをクリックします。



③ [検索除外] の [+] をクリックします。



- ④ 「検索除外を有効にする」がONであることを確認します。
- ⑤ 基Ⅱ.net がインストールされているフォルダ（C:¥Program Files (x86)¥moto2dotnet : 64 ビット OS の場合）を入力します。  
 （C は基Ⅱ.net のインストールドライブです。ご利用の環境に合わせて変更してください。）  
 ※参照ツリーは表示されないため、手入力する必要があります。  
 ※指定したフォルダのサブフォルダも除外対象となります。
- ⑥ 「追加」をクリックします。



- ⑦ 下部のリストに、フォルダパスが追加されたことを確認します。



- ⑧ 追加が終わったら、[保存] をクリックします。  
操作は以上で終了です。



The screenshot shows the Trend Micro Virus Buster Business Security web interface. The page title is "ウイルスバスター ビジネスセキュリティ" and the user is logged in. The navigation menu includes "最新ステータス", "デバイス", "検索", "アップデート", "レポート", "管理", and "ヘルプ". The current page is "デバイス > ポリシーの設定: デスクトップ (初期設定)".

The main content area is titled "不正プログラム対策" and "検索方法". Under "ウイルススキャン対策", there is a section for "特定の拡張子を持つファイルの検索除外". The instructions are: "リストから拡張子を選択してください。" and "選択された拡張子:".

The "選択された拡張子:" list contains: EVT, EVTX, LOG, OST, PST. The "追加" button is visible.

The "拡張子を入力してください。" field is empty. The "詳細設定" link is visible. The "保存" button is highlighted with a red box.